

明海大学



MEIKAI UNIVERSITY

潮風

平成20年1月20日発行(年2回刊)

教育後援会だより
しおかせ

発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会
〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目
電話 047-355-5112 FAX 047-355-2871
http://www.meikai-koenkai.com/

2007年度 地区教育懇談会

長野(信州地区)で初開催!

今年は7会場

保護者と大学の先生方が一堂に会し、親しく懇談できる場を作ると1994年にスタートした「教育懇談会」。大学の現況の報告や個別面談、軽食をとりながらの懇親会などを通じて互いに交流を深めている。今年度は、昨年度より1会場多い、7会場で実施。信州地区が新たに加わった。

北陸地区教育懇談会(新潟)

9月16日(日)

地区教育懇談会のスタート地となったのは北陸地区。9月16日、新潟市内のホテルで開催された。この日は、大学から高倉翔学長をはじめ、小池生夫外国語学部長、小泉允園不動産学部長、草野健H.I.C.学部長などの教職員と、保護者、教育後援会役員を含め約40人が参加。大学側からの現況報告の後、成績、学生生活、就職等について個別相談が行われた。

《全体懇談会》

まず教育後援会仲村務副会長が、「皆さんはお子さ



全体会の様子

ます教育後援会仲村務副会長が、「皆さんはお子さ... 学生なしの『三無主義』の大学は生き残りが難しい」と日本の大学が置かれた厳しい現状を説明し、しかし「本学は早い時期から魅力ある大学づくりにまい進し、三無主義とはかけはなれたところにある。その一つの証明として日本高等教育評価機構による第三者評価でも大学の評価基

準を満たしていると認定された。どうぞご安心を」と述べた。

その後、伊藤教学事課長が大学の近況について説明。学内報「Meikai」の記事を引用して、資格取得の奨励、インターンシップ、長期留学・短期海外研修派遣の制度、それから昨年からスタートした体育会の活躍など、大学の取り組み、学生たちの活動について報告した。

《個別面談》

「就職について、1年生の今から準備すべきことは何か」「首都圏と地方とで、就職活動に違いはあるのか」「留学を希望しているが、どのような支援制度があるのか」など。

《参加者の感想》

● 昨年に続き2回目の参加です。学長から日本の大学の実情などの話を聞くこと



高倉学長



仲村副会長

ができ、たいへん勉強になりました。大学はあまりなじみがないので、こういう機会は必要だと思います。(英米語学科2年)

信州地区教育懇談会(長野)

9月30日(日)

9月30日、信州地区教育懇談会が、長野市内のホテルで開催され、16人の父母が参加した。

《全体懇談会》

全体会では、教育後援会谷昭夫会長が「本日は校務多忙のなか、高倉翔学長をはじめ各学部長の先生方に来ていただきありがとうございます。初めて信州地区の教育懇談会を開催することにになりましたが、遠く家庭を離れていると心配があると思いますので、どんなことでも



全体会の様子

どんなことでも... 先生方に相談していただければと思います」とあいさつ。次に高倉翔学長が、「教育後援会の皆様には大変お世話になっております。今年度より信州地区が開催されますので、よろしくお願

先生方に相談していただければと思います」とあいさつ。

次に高倉翔学長が、「教育後援会の皆様には大変お世話になっております。今年度より信州地区が開催されますので、よろしくお願

その後、伊藤教学事課長が、本年度の入学試験、在学学生数、教育の取り組みの中で資格取得奨励やインターンシップ、国際交流、学生活動関連など大学の近況を報告した。

全体会終了後は学長・学部長による個人面談や相談が熱心に行われ、保護者の安心した顔がみられた。

《参加者の感想》

● 学長より大学の理念をお話いただき、子どもを安心して学校にお願いできます。これからもご指導よろしくお願いたします。(英米語学科2年)

● 細かい情報を得ることができ、とても有意義でした。(英米語学科1年)

● 大学の学長はじめ学部長の先生方が多く出席していただき、有意義でした。(経済学科1年)

● 大学が身近に感じられるようになり、大変良かった。(経済学科2年)

● 授業の出席状況など1学期初めから連絡をいただき、子どもの様子を知ることができています。ありがとうございます。卒業できるよ、無事に卒業できるように、続けていただければと思います。(経済学科2年)

2008年の新春を迎え、教育後援会会員の皆さまに心よりお慶び申し上げます。また日ごろより教育後援会の諸活動にご理解ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。



谷昭夫

教育後援会創立20周年を 迎えるにあたって

明海大学浦安キャンパス教育後援会会長 谷昭夫

さて、昨年6月2日の評議員会以降の教育後援会活動の一部を報告させていただきます。9月4日から3日間は、学生会主催のサマーキャンプ(栃木県日光市)に教育後援会役員4名と福山事務長、私の6名で参加してまいりました。台風が近づくなか、予定通り全日程を無事に行うことができました。今年のテーマは「未来の明海大学を考えた」でした。高倉翔学長をはじめ、副学長、各学部長、先生方、大学職員が参加し、活発な意見交換がされました。教育後援会も4つの分科会に分かれ、学生諸氏の活発な意見を聞くことができました。先生方が今一番何を望んでいるのか、また教育後援会として何が出来るか。これからは大学と密に話し合い、学生の意見を少しでも反映していきたいと思

ご要望をまとめ、これからの教育後援会の活動の方向性を決め、明海大学の更なる発展のために努力してまいります。最後にになりましたが、本年も会員の皆さま方のご理解と今一層のご協力ご支援をよろしくお願いいたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。